

天災・日没でのコールドゲームのルール

(カリフ・マルエス旗争奪少年野球大会及び柏流さよなら大会で適用)

天候悪化・日没等の理由で試合が続行不可能で打ち切ったとき、試合が規定のイニング（4回）を終了していれば試合成立とします。

通常の試合終了と同様に、片方のチームがリードした状態なら「ゲーム」、同点で終了した場合は「タイゲーム」とし、試合終了とします。

規定のイニング（4回）を終了していない場合は、本来であれば「ノーゲーム」となりますが、サスペンデッドゲーム（一時停止試合）として、全ての記録を保持しておき、後日改めてその時点から再開することにします。

具体例

スコア例の表では先攻チームをA、後攻チームをBです。

- 例1（サスペンデッドゲームとなる場合）：4回裏の攻撃途中まででAチームがリードしているか、同点の場合で試合が中止された場合、4回裏の攻撃が完了しないと試合が成立しない。
- スコア例 1-1

チーム	1	2	3	4	R
A	0	0	1	0	(1)
B	0	0	0	0x	(0)

Aチームがリードしているが、4回裏の攻撃が完了していないので、サスペンデッドゲームとなる。

- スコア例 1-2

チーム	1	2	3	4	R
A	0	0	0	0x	(0)
B	0	0	0		(0)

0-0の同点であるが、4回の攻撃が完了していないのでサスペンデッドゲームとなる。

- 例2（正式試合として成立する場合）：4回裏の段階でBチームがリードしているか、あるいは4回裏に同点に追いついて（または逆転して）、そのイニングの途中で中止となった場合はBチームの勝ちとなる。
- スコア例 2-1

チーム	1	2	3	4	R
A	0	0	0	0	0
B	0	0	1	X	1

4 回裏の攻撃は行わなかったが、B チームがリードしているので正式試合が成立する (B チームの勝ち)。

- スコア例 2-2

チーム	1	2	3	4	R
A	0	0	1	0	1
B	0	0	0	1x	1

4 回裏の攻撃途中ではあるが、B チームが同点に追いついたので正式試合が成立する (引き分け)

- 例 3: 4 回終了時 B チームがリードして迎えた 5 回に A チームが同点、もしくは逆転に成功しながらも、その回の途中 (後攻の攻撃途中も含む) で続行不可能になった場合、4 回までの記録は有効となるが、5 回の記録は (表裏が完了していないので) 無効となり、4 回までのスコアで B チームの勝ちとなる (ただし 5 回裏に B チームが同点、逆転した上で試合が中止となった場合は 5 回引き分けもしくは B チームの勝ちとなります。)

- スコア例 3-1

チーム	1	2	3	4	5	R
A	0	0	0	0	(2x)	0
B	0	0	1	0		1

5 回表に A チームが逆転してスコアは A2-1B となるが、そのイニングが完了していないため 5 回表の A チームの得点 (2 点) は無効となり、4 回終了時のスコアまでが採用され A0-1B となる (B チームの勝ち)。

- スコア例 3-2

チーム	1	2	3	4	5	R
A	0	0	1	0	0	1
B	0	0	0	0	2x	2

5 回裏に B チームが逆転して A1-2B でコールドとなった場合はそのスコアも有効となる (B チームの勝ち)。